無料資料　脳トレ 39

交通ルールを見て、安全な行動を考えよう

実施日　　年　　月　　日
お名前

絵の中の情報を見て、「どうすると安全か」「なぜそう考えたか」を考えましょう。
正解を当てるだけでなく、見た情報を理由につなげることがポイントです。

1 | 信号のある横断歩道



① この人は、どうすると安全ですか？

② どこを見てそう考えましたか？

③ ほかに気をつけたいことは何ですか？

2 | 駐車場の出入口の近く



① この人は、どうすると安全ですか？

② どこを見てそう考えましたか？

③ ほかに気をつけたいことは何ですか？

3 | 雨の夕方の道路



① この人は、どうすると安全ですか？

② どこを見てそう考えましたか？

③ ほかに気をつけたいことは何ですか？

考えるヒント：信号・車・自転車・道路の状態など、「見えている情報」を1つずつ確認してみましょう。

無料資料　脳トレ 39

交通ルールを見て、安全な行動を考えよう

実施日　年　月　日
お名前

解答例・支援者向け解説

これは一例です。正解は一つではありません。根拠と安全な行動がつながっていれば、別の答えも大切にします。

1 | 信号のある横断歩道



安全な行動の例：赤信号の間は渡らず、青になるまで待つ。
根拠の例：歩行者用信号が赤で、道路には車が近づいている。
さらに気をつけたいこと：青になっても左右を確認し、車が止まったことを確認してから渡る。

2 | 駐車場の出入口の近く



安全な行動の例：駐車場から車が出てくる可能性を考え、いったん周囲を確認する。
根拠の例：駐車場の出口付近に車があり、近くには自転車も走っている。
さらに気をつけたいこと：急に前へ出ず、車と自転車の両方の動きを確認する。

3 | 雨の夕方の道路



安全な行動の例：急がず、足元と車の動きを確認しながら行動する。
根拠の例：雨で路面がぬれており、夕方で見えにくく、車のライトが近づいている。
さらに気をつけたいこと：滑りやすい場所を避け、明るく見通しのよい場所で安全確認をする。

支援者向け解説

■ ねらい
交通場面から必要な情報を拾い、安全な行動を選び、その理由を言葉にする課題です。ルールの暗記だけでなく、「見る→判断する→理由を説明する」という思考過程を使います。

■ 主に使う認知機能
選択性注意／視覚的情報探索／社会的判断／推論／遂行機能／問題解決

■ 難しい場合
「信号は何色？」「車はどこ？」「道路はどんな状態？」など、見る場所を具体的に示します。答えを急がせず、見つけた情報を一緒に確認します。

■ 簡単な場合
「もし急いでいたら？」「夜だったら？」「歩行器を使っていたら？」など条件を加え、考え直してもらうと難易度を上げられます。

■ 観察ポイント
どこに注目したか、危険につながる情報を見つけられたか、理由と行動がつながっているか、別の安全策も考えられるかを見ます。

※診断や点数評価を目的とした教材ではありません。利用者の状態に合わせて、情報量やヒント量を調整してください。